



横浜型小中一貫教育



港南台第一中ブロック

港南台第一小学校 港南台第二小学校 港南台第三小学校 港南台第一中学校

平成24年度より、横浜市立小・中学校では、全142ブロックで「横浜型小中一貫教育」が全面的にスタートしました。「横浜型小中一貫教育」とは、敷地や校舎を共有するなどの物理的な状況に関係なく、小中学校教職員が情報交換や連携をして、義務教育9年間の連続性を図った、小中一貫カリキュラムに基づく教育活動を推進することです。このことによって、子どもの学力の向上や児童生徒が成長するうえでの課題の解決を目指します。

港南台第一中ブロックが目指す子ども像

「まち」でともに生き、「まち」でともに「学び」、
「まち」をともに創る港南台の子ども

小中児童生徒交流

小学校6年生の中学校の授業見学や、生徒会による中学校生活の説明会、部活動の見学・体験などを行っています。

<6年生の声>

☆合唱コンクールに向けて、パート別に自分たちで練習を進めていた。

☆生徒会の人たちが部活動や宿題などの質問に答えてくれた。中学校に行くのが楽しみになった。

部活動の交流

吹奏楽部が小学校の行事で演奏したり、サッカー部、バスケットボール部、陸上競技部などが、小学生に実技指導を行ったりしています。

一中校区サマーフェスティバル

「港南台第一中学校学校・家庭・地域連携事業」の一環として、港南台第一中ブロックの4校に港南台ひの特別支援学校、近隣の県立高校も加わり、地域の方々とともに、夏休みに開催しています。スポーツイベント、カルチャーイベント、ガレージセール、模擬店、コンサートなどが行われます。



小中学生、職員と一緒にキックベースを楽しみました。

小中合同教職員研修

教科の授業や人権教育などについて、教職員がともに学ぶ機会を作っています。公開授業や合同人権研修を開催したり、それぞれの学校の重点研究や公開授業研究会に参加したりしています。お互いの授業を見合った後には、形式をそろえたカードで感想を交流し合い、自校の授業に役立てています。

授業確認カード

| |
|--------------------------------|
| 学習のねらいを明示している。 |
| 子どもたちに学習見通しをもたせている。 |
| 学習展開の中で、子どもたちが主体的に取り組む学習場面がある。 |
| コミュニケーションを図る学習場面がある。 |
| 基礎基本の確実な定着を図っている。 |
| 学習のまとめとして振り返り（評価）を行っている。 |